

8月18日(水曜日)

ドル/円

米国債利回りと各種報道を眺めて

17日(火)の主な推移

チャート: 30分足 17日(火)朝6時 ~ 18日(水)朝6時

NYダウ平均

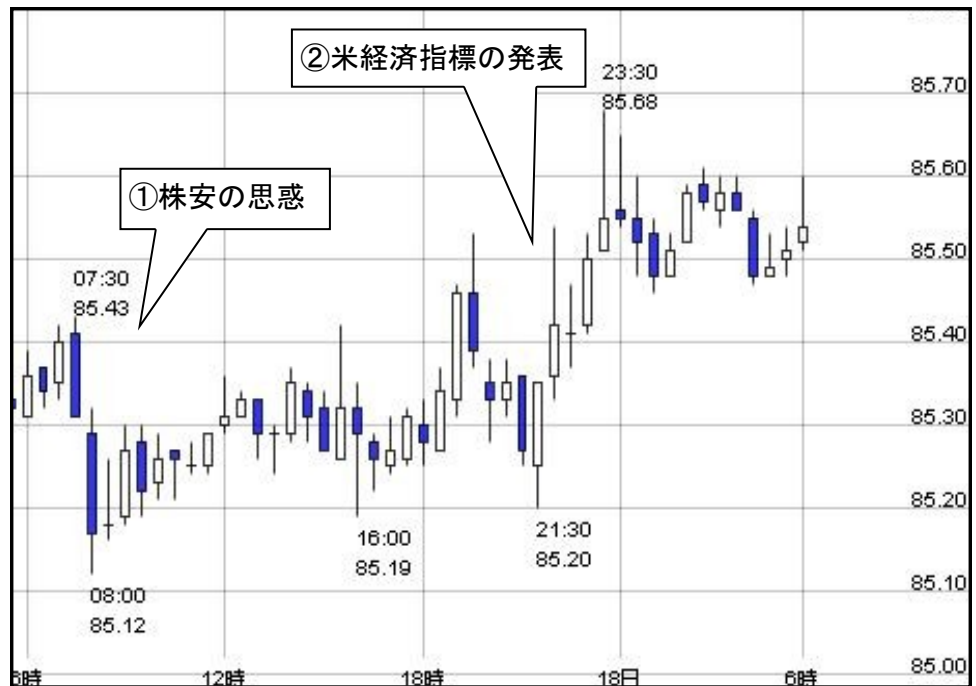
10405.85ドル
(+103.84ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

2.6429%
(+0.0678%)

NY原油先物

75.77ドル
(+0.53ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所: 外為どっとコム

①

前日のNYダウ平均の下落を受け、この日の日経平均株価が下がるとの思惑から一時円高が進んだ。実際に日経平均株価が下落して始めると、ドル/円は上値の重さは目立つ一方、下値を切り上げる展開となった。

②

21時30分に発表された米7月住宅着工件数は54.6万件(市場予想: 56万件)、建設許可件数は56.5万件(同: 58万件)と双方市場予想を下回ったことから、発表直後にドル/円は85.20円まで下落した。しかし、同時に発表された米7月生産者物価指数(PPI)は概ね市場予想通りとなるも、食品とエネルギーを除いた部門が前月比+0.3%(同: +0.1%)、前年比+1.5%(同: +1.3%)と、予想よりも物価上昇幅が大きかったことを受け、すぐにドル/円は反発。さらに、22時15分に発表された米7月鉱工業生産が前月比+1.0%と市場予想(+0.5%)を大幅に上回る結果になると、ドル高・円安の進行に拍車がかかり、ドル/円は85.68円まで上昇した。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 84.70- 86.40円

本日は手掛かり材料視されそうな経済イベントはなく、ドル/円は米国債利回りの動向や、主要国株価の値動きを受けたユーロに対するドルと円のカ関係の影響を受けた取引となる見通しである。

ただ、政府・日銀関係者の発言やそれに絡む報道には注意したい。23日にも菅総理と白川日銀総裁の会談が行われる見通しとなっているが、それに伴い、市場では日銀による追加の金融緩和策があるのでは、との思惑が交錯している。荒井経済財政担当相からは「20日に菅総理が関係省庁から今の経済情勢の事情を聞く」という発言が伝わっている他、その他議員が追加緩和を政府に求める動きをみせるなど、政界中心に様々な動きがある中で、為替に対する直接的な発言があれば手掛かり材料視される可能性もある。(ジェルベズ)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
8/18(水)			なし		

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された 意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com